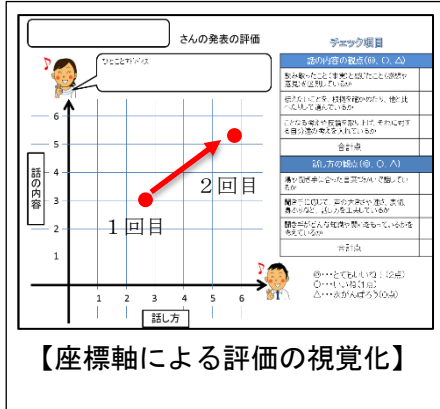


実践記録（小6・社会）

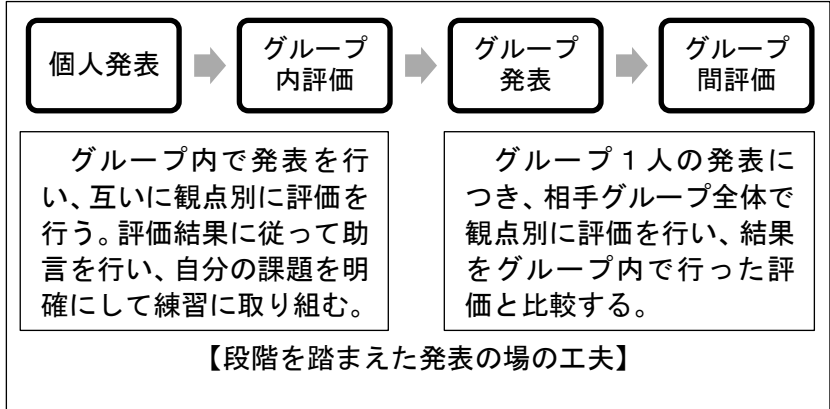
1 ねらい

平氏と源氏の政治について、分かりやすく伝えることで新しい考えを知ったり、学習内容の理解を深めたりすることができる。

2 手立て



【座標軸による評価の視覚化】



3 実践の様子

始めに、児童に、「調べたことを互いに分かりやすく発表することで、学習内容を深める」というねらいを伝えた。児童らは、「平氏」「源氏」の2グループに分かれ、それぞれの政治の内容について、教科書や資料集などから必要な情報を収集し、自分の考えをワークシートにまとめた。

次に、グループ内で、それぞれが調べたことを発表する練習を行った。その際に、「話の内容」と「話し方」の観点に基づいてグループの友達が発表者の評価を行い、座標軸上に現在の評価を数値化して記入させた。分かりやすい発表にするために、観点の内容を生かしてアドバイスするようにさせた。その後、友達からのアドバイスを生かして、繰り返し練習を行い、評価が低い項目を改善しようとする児童の姿が見られた。

最後に、グループ内で評価したことと、全体で評価したことを基に、これまでの自分の成長を振り返ったり、課題を確認したりした。

4 成果と課題

- グループの中で、発表評価シートの観点に従って評価し、アドバイスを行うことで、次に自分が発表する際に気を付ける点を意識することができた。
- グループ内、グループ間の2回に渡って発表の様子の評価を座標軸上に記入させたことで、自分の伝える力の高まりを視覚的に捉えさせることができた。

- 発表内容の聞き取りと評価を同時に行うことは、児童には困難な活動であった。学習内容を深める場面と評価する場面を明確に分けると、より丁寧に学習内容を深めたり、評価したりすることができた。
- 評価者が異なるので、1回目と2回目の評価に違いが出てしまい、評価が下がってしまう場合があった。評価者を同じにするか、基準を明確化することが大切である。



【グループ内で助言し合う様子】

話の内容の観点
読み取ったこと(事実)と感じたこと(感想や意見)を区別しているか。
伝えたいことを、根拠を確かめたり、他と比較したりして選んでいるか。
異なる考えや反論を取り上げ、それに対する自分の考えを入れているか。
話し方の観点
場や聞き手に合った言葉づかいで話しているか。
聞き手に応じて、声の大きさや速さ、表情、身振りなど、話し方を工夫しているか。
聞き手がどんな知識や関心を持っているかを考えているか。
◎ (とてもいいね) : 2点 ○ (いいね) : 1点 △ (がんばろう) : 0点 (*各項目の合計を座標軸上に示す)

【評価の基準】